

2023 年 2 月号：社長の平均年齢 過去最高の 63.02 歳

【2023 年 2 月号の内容】

- 1) 社長の平均年齢 過去最高の 63.02 歳
- 2) 2022 年上場企業の早期・希望退職は 38 社
- 3) コロナ破たん、2 カ月連続で月間最多を更新 1 月は全国で 245 件が判明
- 4) 最新の花粉症対策は「症状出る前から」が肝心
- 5) ミカンの皮にさまざまな活用法
- 6) 窓の断熱リフォームから、暮らしの脱炭素を始めよう

当グループは地元大阪のサッカーチーム「FC 大阪」様を応援しています。

【1】社長の平均年齢 過去最高の 63.02 歳

.....

～最高齢は秋田県 65.33 歳、最年少は大阪府 61.76 歳～

2022 年の社長の平均年齢は、調査を開始した 2009 年以降で最高の 63.02 歳（前年 62.77 歳）だった。

高齢化に伴い、60 代以上の社長の構成比が初めて 60%を超えた。

高齢の社長ほど業績悪化が進む傾向は変わらず、後継者不在や事業承継問題は大きな経営リスクとして浮上している。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20230131_01.html

※外部サイトとなります。

【2】2022 年上場企業の早期・希望退職は 38 社

.....

2022 年に早期・希望退職募集を開示した上場企業は、38 社だった。

前年の 84 社から 46 社減（54.7%減）と半減し、コロナ禍前の 2019 年（35 社）とほぼ同水準で、30 社台は 3 年ぶりとなった。

業種別では、最多は機械の 5 社で、コロナ禍が直撃し前年 4 社の外食はゼロ

だった。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20230127_02.html

※外部サイトとなります。

【3】 コロナ破たん、2 カ月連続で月間最多を更新 1 月は全国で 245 件が判明

.....

1 月 31 日は「新型コロナ」関連の経営破たん（負債 1,000 万円以上）が 41 件判明
全国で累計 5,088 件（倒産 4,926 件、弁護士一任・準備中 162 件）となった。

件数は 2022 年に入って増勢を強め、9 月（206 件）、10 月（226 件）、11 月
（207 件）に続き、12 月も 243 件が判明し、2022 年は前年（1,718 件）から
3 割増の 2,282 件にのぼった。2023 年に入っても 1 月は 2 カ月連続で月間最多を
更新する 245 件が判明し、5 カ月連続で 200 件を上回った。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20230131_02.html

※外部サイトとなります。

【4】 最新の花粉症対策は「症状出る前から」が肝心

.....

1 月 19 日、日本気象協会が'23 年春の花粉飛散予測を発表。この春の飛散量は、
東北～九州で前年より多く、特に関東甲信・東海・近畿・四国では「非常に
多く」という。

それもそのはず、環境省は、関東・北陸・中国地方のスギの雄花についている
花粉量が過去 10 年で最大となっていると報告しているのだ。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12268-2129511/>

※外部サイトとなります。

【5】 ミカンの皮にさまざまな活用法

.....

冬の味覚といえばいろいろありますが、特に甘くてジューシーなミカンは

人気の果物ですよ。

たくさん食べた後は、テーブルの上にミカンの皮が山盛りなんてことも。

多くの人は、ミカンの皮をそのまま捨てているのではないのでしょうか。

実はミカンの皮はただのゴミではなくさまざまな利用法がある資源なのです！

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12305-2131462/>

※外部サイトとなります。

【6】窓の断熱リフォームから、暮らしの脱炭素を始めよう

.....

寒い冬には暖房が欠かせませんが、エネルギー費の高騰やCO2の排出などが気になります。

家計や環境にやさしく快適に暮らすために、窓の断熱リフォームを考えてみませんか。

政府は10月から新たに「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」をスタートしました。

これは、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容やライフスタイル変革を強力に後押しするものです。その中で、住宅の断熱化は光熱費の削減にも大きく寄与するもので、年間約94,000円が浮くことが試算され、また、部屋間の寒暖差が少なくなることによる快適性の向上やヒートショック防止などの健康な生活にも効果があることが示されています。

■詳しくはこちら

<http://magazine.est-group.co.jp/url/env20230201>

※URLはEST groupのサイトにてURLを短縮し短くしています。

※外部サイトとなります。

※元のURL(折り返しています)：

https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/topics/2022_01.html

※本メールはEST Groupのサービスをご利用いただいた方にお送りしています。

※今後EST Groupからのご案内が不要の場合、ご連絡ください。

※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.